

レリコン[®]

(レジン注入式低圧電力・制御ケーブル接続部保護絶縁キット)

試験成績書

ヘラマンタイトン株式会社
商品部

初版: 2018年11月

ヘラマンタイトン株式会社

〒151-0073 渋谷区笹塚1-48-3 住友不動産笹塚太陽ビル6F

TEL:(03)5790-3113(代) FAX:(03)5790-3123 www.hellermannntyton.co.jp

1. 目的

本試験成績書は、レリコン®(レジン注入式低圧電力・制御ケーブル接続部保護絶縁キット)の性能試験の結果を示したものです。

2. 試験

2.1 試料

試験は、【表-1】の仕様にて実施しました。

【表-1】 試料の仕様

試料番号	レリコン型番	ケーブルの構成
1	i-0/SF	600V CV 単心 5.5mm ² 突合せ型圧着スリーブ(B形)
2	i-2/SF	600V CV 単心 250mm ² 突合せ型圧着スリーブ(B形)

2.2 試験内容と順序

接続部の性能は、【表-2】に示す「一般財団法人日本電力ケーブル接続協会」が定める性能基準「600V 架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル用接続部性能基準(JCAA K 1101-2013)」に準拠します。

【表-2】 接続部の性能

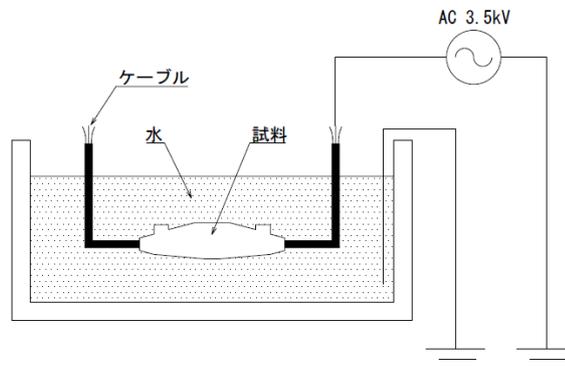
試験順序	項目	性能
1	商用周波耐電圧 1	3.5kV 連続 10 分間耐え異常のない事
2	通電温度上昇	通電温度上昇導体温度が 105℃となるような通電を 3 時間、3 回行ったときにこれに耐え異常のないこと。
3	商用周波耐電圧 2	通電温度上昇試験後、1.0kV 連続 10 分間耐え異常のない事
4	気密	98kPa(外圧)の水圧、1 時間で内部まで浸水のないこと。

2.3 試験方法

2.3.1 商用周波耐電圧 1

【図-1】のような試験装置に試料を設置し、試料に 3.5kV の電圧を 10 分間加え、これに耐え得るかを調べる。試料に接続されるケーブルの導体温度は常温とする。

【図-1】



ヘラマンタイトン株式会社

〒151-0073 渋谷区笹塚 1-48-3 住友不動産笹塚太陽ビル 6F

TEL:(03)5790-3113(代) FAX:(03)5790-3123 www.hellermannntyton.co.jp

2.3.2 通電温度上昇試験

試料にケーブルの導体が 105℃になるような電流を通電し、105±3℃を 3 時間保った後通電をやめ、自然放冷させる。これを 1 回として 3 回行い、これに耐え異常のないことを調べる。

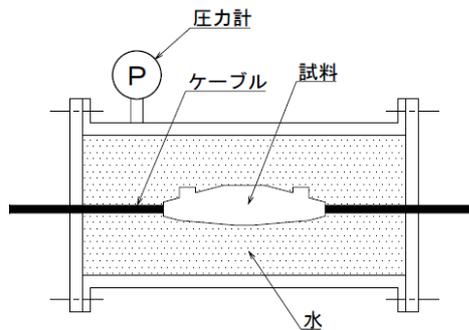
2.3.3 商用周波耐電圧試験 2

上記【図-1】の装置に試料を再び設置し、試料に 1.0kV の電圧を 10 分間加え、これに耐え得るかを調べる。試料に接続されるケーブルの導体温度は常温とする。

2.3.4 気密試験(外圧)

【図-2】のような圧力装置に常温にて試料を入れ水没させ、98kPa(外圧)の水圧(水深 10m を想定)を 1 時間かけた後解体し、試料内部への浸水の有無を調べる。

【図-2】



3. 試験結果

試料 番号	試験項目				判定
	商用周波 耐電圧 1	通電温度上昇	商用周波 耐電圧 2	気密	
1	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	合格
2	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	合格

以上

ヘラマンタイトン株式会社

〒151-0073 渋谷区笹塚 1-48-3 住友不動産笹塚太陽ビル 6F

TEL:(03)5790-3113(代) FAX:(03)5790-3123 www.hellermanntyton.co.jp